

「計画」

甲賀市立大原小学校

令和 8 年度 我が校の学び力向上策

【県目標】第三期学び力向上滋賀プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学び力を高める。

【令和 8 年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

【市町の目標】

- IKOKA学習デザインを基盤とした、主体的・対話的な深い学びの実現を目指し、学び楽しさを実感し、確かな学力を育む教育の充実
- ・「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- ・「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。
- ・いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校の目標】

- ふるさとを愛し、共に磨き合い たくましく生きる子どもの育成

【現状と課題】

- 視点1
(1) 子どもが目的意識を持ち、主体的に学び合い、考えを表現する授業を共通実践すること。
(2) 情報を安全・安心に利活用できるよう、情報モラルの育成の充実を図ること。
- 視点2 互いを認め合い、安全安心に過ごせるよう、学校と家庭が連携して教育環境を整えること。
- 視点3 OJT研修や校内研究の充実に加え、PDCAサイクルにより継続的に取組を改善すること。

取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート(児童生徒)「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標
①相手や目的を明確にした言語活動により「書く力」の育成を図る。	①学校評価児童用アンケート「授業がわかる」肯定的評価90%以上
②授業や家庭学習での効果的なICTの活用や系統的な情報モラル教育の充実を図る。	②学校評価児童用アンケート「ICTの活用」肯定的評価90%以上

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標
①クラス会議やボイスシャワー等を通して、一人ひとりが互いのよさを認め合い、学び合う集団の育成を図る。	①学校評価児童用アンケート「意見表明・聴取」肯定的評価90%以上
	①学校評価児童用アンケート「認められている」肯定的評価90%以上

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標
①職員研修・OJT研修(週一回)の充実を図る。	①学校評価職員アンケート「OJT研修や職員研修、校内研修の充実」肯定的評価90%以上
②定期的な情報共有・検証・具体的改善策の設定を学校全体で進める。	②学校評価職員アンケート「学校目標等の達成に向け、計画的、継続的に取り組んでいる」肯定的評価90%以上

◇「学び力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

- ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任や確かな学びプロジェクトチーム、視点2については豊かな心プロジェクトチーム、視点3については教務が中心となって、組織的に実践につなげる。
- ・定例職員会議で取組の状況・改善策等を共有し、7月・12月の学校評価や、全国学力・学習状況調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策について各担当部(校内研究部、プロジェクトチーム、教科部会等)でまとめ、その後の職員会議・校内研究会で共有し、後半の取組につなげる。また、それぞれの取組事項に対する評価結果を学校だよりで保護者や地域に発信する。